

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
専門学校東京ビジュアルアーツ		平成5年3月31日		清水 禎徳		〒 102-0081 (住所) 東京都千代田区四番町11 (電話) 03-3221-0203				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日		安達 暁子		〒 102-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2-11 (電話) 03-3292-0662				
分野	認定課程名	認定学科名	専任士認定年度	高度専任士認定年度	職業実践専門課程認定年度					
文化・教養	映像専門課程	音楽総合学科 (スタッフ専攻)	令和 2(2020)年度	-	-					
学科の目的										
音楽業界のニーズに合ったカリキュラムを実施し、音楽業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人材の育成を目的とする。										
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)										
実習授業が多い/他学科、他専攻と協力的、業界と同じシステム、チームワークでイベントや作品を制作 中途退学率17%・・・R4年4月1日時点における在学者69名(R4年度入学者含む)R5年度3月31日時点における在学者57名(R5年3月31日卒業者を含む)										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 136 単位			42 単位	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)			留学生割合(B/A)					
200の内 数	58 人	3 人			5 %					
就職等の状況	■卒業者数(C) : 35 人									
	■就職希望者数(D) : 32 人									
	■就職者数(E) : 32 人									
	■地元就職者数(F) : 22 人									
	■就職率(E/D) : 100 %									
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 69 %									
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 91 %									
	■進学者数 : 0 人									
	■その他									
	フリーランス活動3名 (令和 4 年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) SRカンパニー、舞台照明会社、レコーディングスタジオ、MAスタジオ、リハーサルスタジオなど										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL									
当該学科の ホームページ URL	https://www.tva.ac.jp/department/music/									
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数					単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数					単位時間					
うち必修授業時数					単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					単位時間					
(B: 単位数による算定)										
総授業時数					136 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					8 単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数					0 単位					
うち必修授業時数					8 単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					8 単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					0 単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					0 単位					
教員の属性(専任 教員について記 入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人									
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0 人									
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人									
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人									
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人									
	計 1 人									
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 1 人										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、当社が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
内藤 重利	一般社団法人日本音楽スタジオ協会 専務理事	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	①
高橋 邦明	株式会社キング関口台スタジオ 経営本部長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
木村 真巳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
橋本 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
真路 実	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
平野 周吾	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00～16:30

第2回 令和5年2月27日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

音楽総合学科はスタッフ系、ミュージシャン系の2系統に分かれているが、スタッフは音楽的なことを、ミュージシャンはエンジニア的なことを学んでおく必要があるとの指摘があったため、今後カリキュラムに反映していく。また、授業を通してコミュニケーション力を高めていく実習を検討中。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係														
<p>(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>音楽制作技術において必須となる編曲分野の学習として、サウンドの構造を基礎から楽曲アレンジを実践的に経験する制作活動を通じ、変化を続ける視聴環境と激変する社会環境の中でも音楽業界で生き残れる創作力とスキルを身につけることを基本方針とする。</p> <p>最新の音楽業界の視点から業界の求める人材育成を行うため、音楽・イベントの技術分野で幅広く実績のある企業のクリエイターを講師として派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。</p> <p>また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。</p>														
<p>(2) 実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>数多くの楽曲・イベントの制作実績を持つ企業の監修のもと、最新の音楽業界のトレンドを踏まえた楽曲制作・サウンド作りの実戦経験を積むことにより、変化を続ける音楽業界で長期活躍できる人材を育成する。</p> <p>学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。</p>														
<p>(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テクニカル応用実習1</td> <td>編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ1として、サウンド作り・アレンジの基礎技術を修得。</td> <td>有限会社スーパーラブ</td> </tr> <tr> <td>テクニカル応用実習2</td> <td>編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ2として、ステップ1の修得スキルを踏まえより発展的に多ジャンルへの対応力を修得。</td> <td>有限会社スーパーラブ</td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	テクニカル応用実習1	編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ1として、サウンド作り・アレンジの基礎技術を修得。	有限会社スーパーラブ	テクニカル応用実習2	編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ2として、ステップ1の修得スキルを踏まえより発展的に多ジャンルへの対応力を修得。	有限会社スーパーラブ			
科目名	科目概要	連携企業等												
テクニカル応用実習1	編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ1として、サウンド作り・アレンジの基礎技術を修得。	有限会社スーパーラブ												
テクニカル応用実習2	編集機能の知識の習得と実践。2ステップで行う「テクニカル応用実習」のうち、ステップ2として、ステップ1の修得スキルを踏まえより発展的に多ジャンルへの対応力を修得。	有限会社スーパーラブ												
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係														
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針</p> <p>※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記</p> <p>本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完する。</p>														
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>研修名:</td> <td>アーティスト&スタッフ合同セミナー</td> <td>連携企業等:</td> <td>株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント</td> </tr> <tr> <td>期間:</td> <td>2022/12/18</td> <td>対象:</td> <td>音楽総合学科 常勤教職員・助手</td> </tr> <tr> <td>内容:</td> <td colspan="3">アーティスト4s4ki様の楽曲を詳しく分解し、制作時に意識していることアーティストとして大事にしていることや、コンサート、レコーディングスタッフがアーティストと接する際の心構えについて学ぶ。</td> </tr> </tbody> </table>			研修名:	アーティスト&スタッフ合同セミナー	連携企業等:	株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	期間:	2022/12/18	対象:	音楽総合学科 常勤教職員・助手	内容:	アーティスト4s4ki様の楽曲を詳しく分解し、制作時に意識していることアーティストとして大事にしていることや、コンサート、レコーディングスタッフがアーティストと接する際の心構えについて学ぶ。		
研修名:	アーティスト&スタッフ合同セミナー	連携企業等:	株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント											
期間:	2022/12/18	対象:	音楽総合学科 常勤教職員・助手											
内容:	アーティスト4s4ki様の楽曲を詳しく分解し、制作時に意識していることアーティストとして大事にしていることや、コンサート、レコーディングスタッフがアーティストと接する際の心構えについて学ぶ。													
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>研修名:</td> <td>実習・行事におけるチーム活動について</td> <td>連携企業等:</td> <td>日本マナープロトコール協会</td> </tr> <tr> <td>期間:</td> <td>2023/3/29</td> <td>対象:</td> <td>常勤教職員・助手</td> </tr> <tr> <td>内容:</td> <td colspan="3">学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。</td> </tr> </tbody> </table>			研修名:	実習・行事におけるチーム活動について	連携企業等:	日本マナープロトコール協会	期間:	2023/3/29	対象:	常勤教職員・助手	内容:	学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。		
研修名:	実習・行事におけるチーム活動について	連携企業等:	日本マナープロトコール協会											
期間:	2023/3/29	対象:	常勤教職員・助手											
内容:	学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。													
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>研修名:</td> <td>「PIA MUSIC COMPLEX 2023」大型音楽フェス視察</td> <td>連携企業等:</td> <td>株式会社ディスクガレージ</td> </tr> <tr> <td>期間:</td> <td>令和5年9月30日～10月1日</td> <td>対象:</td> <td>音楽総合学科 常勤教職員・助手</td> </tr> <tr> <td>内容:</td> <td colspan="3">コロナ禍を経て行われる大型フェスを視察し、ミュージシャン・スタッフそれぞれに今求められている能力・人間性を探る。</td> </tr> </tbody> </table>			研修名:	「PIA MUSIC COMPLEX 2023」大型音楽フェス視察	連携企業等:	株式会社ディスクガレージ	期間:	令和5年9月30日～10月1日	対象:	音楽総合学科 常勤教職員・助手	内容:	コロナ禍を経て行われる大型フェスを視察し、ミュージシャン・スタッフそれぞれに今求められている能力・人間性を探る。		
研修名:	「PIA MUSIC COMPLEX 2023」大型音楽フェス視察	連携企業等:	株式会社ディスクガレージ											
期間:	令和5年9月30日～10月1日	対象:	音楽総合学科 常勤教職員・助手											
内容:	コロナ禍を経て行われる大型フェスを視察し、ミュージシャン・スタッフそれぞれに今求められている能力・人間性を探る。													
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>研修名:</td> <td>メンタルヘルスを抱えた学生の対応について</td> <td>連携企業等:</td> <td>株式会社インソース</td> </tr> <tr> <td>期間:</td> <td>2024/3/27</td> <td>対象:</td> <td>常勤教職員・助手</td> </tr> <tr> <td>内容:</td> <td colspan="3">近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>			研修名:	メンタルヘルスを抱えた学生の対応について	連携企業等:	株式会社インソース	期間:	2024/3/27	対象:	常勤教職員・助手	内容:	近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。		
研修名:	メンタルヘルスを抱えた学生の対応について	連携企業等:	株式会社インソース											
期間:	2024/3/27	対象:	常勤教職員・助手											
内容:	近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。													

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができていないか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教育活動	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) 国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ① 足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。
- ② 学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③ 展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④ 校内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf

公表時期: 2023/6/1

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教職員	教育理念などに沿った教育課程の 編成・実施方針等が策定されているか など
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているか など
(5) 様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf

公表時期: 2023/6/1

授業科目等の概要

(映像専門課程 音楽総合学科 (スタッフ専攻))															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ホームルーム1	業界知識 社会人的意識の習得	1年前期	30	2	○			○		○		
2	○		業界研究1	音楽芸能業界の知識習得①	1年前期	30	2	○			○			○	
3	○		デジタル概論1	舞台制作に必要なデジタル機器の知識を得る①	1年前期	30	2	○			○			○	
4	○		音楽史1	音楽の歴史を学ぶ、楽器の知識を得る①	1年前期	30	2			○	○			○	
5	○		舞台基礎1	舞台機構や設備の知識習得①	1年前期	30	2			○	○			○	
6	○		テクニカル基礎実習1	各コース別実演授業 (音響・照明技術の習得①)	1年前期	60	4			○	○			○	
7	○		テクニカル応用実習1	各コース別実演授業 (音響・照明技術の習得②)	1年前期	60	4			○	○			○	
8	○		分野別実習1	プロダクション業務の知識習得①	1年前期	60	4			○	○			○	
9	○		PC実習1	専門ソフトウェアの技術習得①	1年前期	60	4			○	○			○	
10	○		メンテナンス1	機器メンテナンスの知識習得①	1年前期	30	2			○	○			○	
11	○		クラフトワーク1	工具の使用方法を習得	1年前期	30	2			○	○			○	
12	○		ホームルーム2	就職活動に向けての意識向上	1年後期	30	2	○			○		○		
13	○		業界研究2	音楽芸能業界の知識習得②	1年後期	30	2	○			○			○	
14	○		デジタル概論2	舞台制作に必要なデジタル機器の知識を得る②	1年後期	30	2	○			○			○	
15	○		音楽史2	音楽の歴史を学ぶ、楽器の知識を得る②	1年後期	30	2	○			○			○	
16	○		舞台基礎2	舞台機構や設備の知識習得②	1年後期	30	2			○	○			○	
17	○		テクニカル基礎実習2	各コース別実演授業 (音響・照明技術の習得③)	1年後期	60	4			○	○			○	
18	○		テクニカル応用実習2	各コース別実演授業 (音響・照明技術の習得④)	1年後期	60	4			○	○			○	
19	○		分野別実習2	プロダクション業務の知識習得②	1年後期	60	4			○	○			○	
20	○		PC実習2	専門ソフトウェアの技術習得②	1年後期	60	4			○	○			○	
21	○		メンテナンス2	機器メンテナンスの知識習得②	1年後期	30	2			○	○			○	
22	○		クラフトワーク2	企画イベントの実施	1年後期	30	2			○	○			○	
23	○		特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	○			○	○	○	○	
24	○		特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	○			○	○	○	○	
25	○		特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	○			○	○	○	○	
26	○		特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	○			○	○	○	○	
27	○		ホームルーム3	就職活動指導	2年前期	30	2	○			○		○		
28	○		業界研究3	音楽芸能業界の知識習得③	2年前期	30	2	○			○			○	
29	○		総合実習3	コース別授業 (専門知識の習得①)	2年前期	90	6			○	○			○	

30	○		テクニカル実習1	各コース別実演授業（音響・照明技術の習得⑤）	2年前期	60	4			○	○			○
31	○		テクニカル実習2	各コース別実演授業（音響・照明技術の習得⑥）	2年前期	60	4			○	○			○
32	○		テクニカル実習3	各コース別実演授業（音響・照明技術の習得⑦）	2年前期	60	4			○	○			○
33	○		分野別実習3	プロダクション業務の知識習得③	2年前期	60	4			○	○		○	
34	○		分野別技術1	コース別授業（技術習得①）	2年前期	30	2			○	○			○
35	○		テクニカル概論1	各種機材の知識を習得①	2年前期	30	2	○			○			○
36	○		ホームルーム4	社会適応能力の向上	2年後期	30	2	○			○		○	
37	○		業界研究4	音楽芸能業界の知識習得④	2年後期	30	2	○			○			○
38	○		総合実習4	コース別授業（専門知識の習得②）	2年後期	90	6			○	○			○
39	○		テクニカル実習4	オーディション公演に向けた実習①	2年後期	60	4			○	○			○
40	○		テクニカル実習5	オーディション公演に向けた実習②	2年後期	60	4			○	○			○
41	○		テクニカル実習6	オーディション公演に向けた実習③	2年後期	60	4			○	○			○
42	○		分野別実習4	プロダクション業務の知識習得④	2年後期	60	4			○	○			○
43	○		分野別技術2	コース別授業（技術習得②）	2年後期	30	2			○	○			○
44	○		テクニカル概論2	各種機材の知識を習得②	2年後期	30	2	○			○			○
45	○		特別授業5	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事を するうえで有益な情報（好まれる人間性や重宝される技能等）を学 ぶ①	2年前期	0	2	○			○	○	○	○
46	○		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事を するうえで有益な情報（好まれる人間性や重宝される技能等）を学 ぶ②	2年後期	0	2	○			○	○	○	○
47	○		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受 ける①	2年後期	0	2	○			○	○	○	○
48	○		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受 ける②	2年後期	0	2	○			○	○	○	○
49		○	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
50		○	動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
51		○	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4	○			○			○
52		○	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
53		○	クリエイトする為 の基礎デッサン講 座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
54		○	初心者ProToolsゼ ミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
55		○	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
56		○	日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
57		○	HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○
合計						57 科目			172 単位（単位時間）					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 取得単位110単位以上 出席率75%以上		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
専門学校東京ビジュアルアーツ	平成5年3月31日	清水 禎徳	〒 102-0081 (住所) 東京都千代田区四番町11 (電話) 03-3221-0203																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人Adachi学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒 102-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2-11 (電話) 03-3292-0662																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
文化・教養	映像専門課程	音楽総合学科 (ミュージシャン専攻)	令和2(2020)年度	-	-																														
学科の目的	音楽業界のニーズに合ったカリキュラムを実施し、音楽業界と協働しながら卒業後に社会で活躍できる人材の育成を目的とする。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	実習授業が多い/他学科、他専攻と協働し、業界と同じシステム、チームワークでイベントや作品を制作 中途退学率13%・・・R4年4月1日時点における在学者69名(R4年度入学者含む)R5年度3月31日時点における在学者60名(R5年3月31日卒業者を含む)																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 136 単位	36 単位	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間																												
生徒総定員	生徒定員(A)	留学生数(生徒定員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																																
200の内 人数	70 人	13 人	19 %																																
就職等の状況	<p>■卒業生数(C).....26 人</p> <p>■就職希望者数(D).....17 人</p> <p>■就職者数(E).....16 人</p> <p>■地元就職者数(F).....13 人</p> <p>■就職率(E/D).....94 %</p> <p>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E).....81 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合(E/C).....62 %</p> <p>■進学者数.....0 人</p> <p>■その他.....</p> <p>フリーランス活動8名、就職活動継続1名、帰国1名 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 芸能事務所、音楽レーベル、作家事務所、ゲームサウンドクリエイターなど</p>																																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無																																
当該学科の ホームページ URL	https://www.tva.ac.jp/department/music/																																		
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>136 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>4 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>4 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>4 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位</td></tr> </table>							総授業時数	単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総授業時数	136 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	4 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位	うち必修授業時数	4 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	4 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位
総授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																																		
うち必修授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																		
総授業時数	136 単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	4 単位																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位																																		
うち必修授業時数	4 単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	4 単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2 人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 2 人</p>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	2 人																	
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人																																		
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1 人																																		
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																		
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																		
計	2 人																																		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、本校が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
内藤 重利	一般社団法人日本音楽スタジオ協会 専務理事	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	①
高橋 邦明	株式会社キング関口台スタジオ 経営本部長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	③
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
木村 真巳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
橋本 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
真路 実	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—
平野 周吾	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター職員	令和4年9月1日～令和6年8月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00～16:30

第2回 令和5年2月27日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

音楽総合学科はスタッフ系、ミュージシャン系の2系統に分かれているが、スタッフは音楽的なことを、ミュージシャンはエンジニア的なことを学んでおく必要があるとの指摘があったため、今後カリキュラムに反映していく。また、授業を通してコミュニケーション力を高めていく実習を検討中。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 音楽制作技術において必須となる編曲分野の学習として、サウンドの構造を基礎から楽曲アレンジを実践的に経験する制作活動を通じ、変化を続ける視聴環境と激変する社会環境の中でも音楽業界で生き残れる創作力とスキルを身につけることを基本方針とする。 最新の音楽業界の視点から業界の求める人材育成を行うため、音楽・イベントの技術分野で幅広く実績のある企業のクリエイターを講師として派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。 また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 数多くの楽曲・イベントの制作実績を持つ企業の監修のもと、最新の音楽業界のトレンドを踏まえた楽曲制作・サウンド作りの実戦経験を積むことにより、変化を続ける音楽業界で長期活躍できる人材を育成する。 学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
DTM1	楽曲の基本構造を学び、音作りやアレンジ技術を修得。2ステップで行う「DTM」実習のうち、ステップ1として、サウンド作り・アレンジの基礎技術を修得。	有限会社スーパーラブ
DTM2	楽曲の基本構造を学び、音作りやアレンジ技術を修得。2ステップで行う「DTM」実習のうち、ステップ2として、ステップ1を踏まえより発展的に多ジャンルへの対応力を修得。	有限会社スーパーラブ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完する。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	アーティスト&スタッフ合同セミナー	連携企業等: 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
期間:	2022/12/18	対象: 音楽総合学科 常勤教職員・助手
内容:	アーティスト4s4ki様の楽曲を詳しく分解し、制作時に意識していることアーティストとして大事にしていることや、コンサート、レコーディングスタッフがアーティストと接する際の心構えについて学ぶ。	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	実習・行事におけるチーム活動について	連携企業等: 日本マナープロトコール協会
期間:	2023/3/29	対象: 常勤教職員・助手
内容:	学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。	
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	「PIA MUSIC COMPLEX 2023」大型音楽フェス視察	連携企業等: 株式会社ディスクガレージ
期間:	令和5年9月30日～10月1日	対象: 音楽総合学科 常勤教職員・助手
内容:	コロナ禍を経て行われる大型フェスを視察し、ミュージシャン・スタッフそれぞれに今求められている能力・人間性を探る。	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	メンタルヘルスを抱えた学生の対応について	連携企業等: 株式会社インソース
期間:	2024/3/27	対象: 常勤教職員・助手
内容:	近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環境の構築を目指す。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができていないか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教育活動	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) 国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ① 足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。
- ② 学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③ 展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④ 学内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf

公表時期: 2023/6/1

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2) 各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3) 教職員	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか など
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているか など
(5) 様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6) 学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7) 学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8) 学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9) 学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10) 国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11) その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevaluation_b.pdf

公表時期: 2023/6/1

授業科目等の概要

(映像専門課程 音楽総合学科 (ミュージシャン専攻))															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実技・実習	校内	校外	専任	兼任	
	○			音楽基礎理論1	音楽理論の基礎を身につける①	1年前期	30	2	○			○		○	
	○			作詞研究1	作詞・採譜を学ぶ①	1年前期	30	2	○			○		○	
	○			HR1	自身の音楽活動について考える (デビューに向けて) ①	1年前期	30	2	○			○		○	
	○			音楽基礎理論2	音楽理論の基礎を身につける②	1年後期	30	2	○			○		○	
	○			作詞研究2	作詞・採譜を学ぶ②	1年後期	30	2	○			○		○	
	○			HR2	自身の音楽活動について考える (デビューに向けて) ②	1年後期	30	2	○			○		○	
	○			ヴォーカルレッスン1	課題曲を用いてバンドアンサンブルを学ぶ①	1年前期	60	4				○	○		○
	○			ヴォーカルテクニック1	自分の専攻パート以外の選択レッスン①	1年前期	30	2				○	○		○
	○			制作ライブパフォーマンス1	ジャンル毎にテーマを分けた選択制レッスン①	1年前期	60	4				○	○		○
	○			ヴォーカルアンサンブル1	歴史を知り、トレンドを知り、これからの時代を考える①	1年前期	60	4				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンA1	様々なオーディションに対応できる能力を身につける①	1年前期	30	2				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンB1	正確な音響理論および機材用途を理解する	1年前期	30	2				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンC1	様々な楽器の知識を得る	1年前期	30	2				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンD1	音楽業界の最新トレンドを知る①	1年前期	30	2				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンE1	音楽業界の最新トレンドを知る②	1年前期	30	2				○	○		○
	○			ヴォーカルレッスン2	課題曲を用いてバンドアンサンブルを学ぶ②	1年後期	60	4				○	○		○
	○			ヴォーカルテクニック2	自分の専攻パート以外の選択レッスン②	1年後期	30	2				○	○		○
	○			制作ライブパフォーマンス2	ジャンル毎にテーマを分けた選択制レッスン②	1年後期	60	4				○	○		○
	○			ヴォーカルアンサンブル2	歴史を知り、トレンドを知り、これからの時代を考える②	1年後期	60	4				○	○		○
	○			ジャンル別レッスンA2	様々なオーディションに対応できる能力を身につける②	1年後期	30	2				○	○		○

21	○		ジャンル別レッスンB2	各パートの基礎レッスン①	1年後期	30	2				○	○					○
22	○		ジャンル別レッスンG2	各パートの基礎レッスン②	1年後期	30	2				○	○					○
23	○		ジャンル別レッスンD2	各パートの基礎レッスン③	1年後期	30	2				○	○					○
24	○		ジャンル別レッスンE2	各パートの基礎レッスン④	1年後期	30	2				○	○					○
25	○		特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	○				○					○
26	○		特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	○				○					○
27	○		特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	○				○					○
28	○		特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	○				○					○
29	○		作詞演習1	音楽業界の最新トレンドを知る③	2年前期	30	2	○				○					○
30	○		スコアリーディング1	初見演奏を学ぶ①	2年前期	30	2				○	○					○
31	○		HR3	自身の音楽活動について考える（デビューに向けて）③	2年前期	30	2	○				○					○
32	○		アレンジコンポーズ1	自分の専攻パート以外の選択レッスン③	2年前期	30	2				○	○					○
33	○		スコアリーディング2	初見演奏を学ぶ②	2年後期	30	2				○	○					○
34	○		HR4	自身の音楽活動について考える（デビューに向けて）④	2年後期	30	2	○				○					○
35	○		音楽シーン研究1	歴史を知り、トレンドを知り、これからの時代を考える③	2年前期	30	2	○				○					○
36	○		ヴォーカルレッスン3	課題曲を用いてバンドアンサンブルを学ぶ③	2年前期	60	4				○	○					○
37	○		アンサンブル3	様々な楽曲を理論的に考え、紐解いていく①	2年前期	30	2				○	○					○
38	○		ヴォーカルアンサンブル3	様々な楽曲を理論的に考え、紐解いていく②	2年前期	60	4				○	○					○
39	○		オリジナル制作1	自分の専攻パート以外の選択レッスン④	2年前期	60	4				○	○					○
40	○		DTM1	Protoolsの使い方を覚える①	2年前期	30	2				○	○					○
41	○		REC1	歴史を知り、トレンドを知り、これからの時代を考える④	2年後期	30	2				○	○					○
42	○		ジャンル別レッスンA3	様々なオーディションに対応できる能力を身につける③	2年後期	60	4				○	○					○
43	○		選択ジャンル別1	各パートの応用レッスンを行う①	2年後期	30	2				○	○					○
44	○		ヴォーカルレッスン4	課題曲を用いてバンドアンサンブルを学ぶ④	2年後期	60	4				○	○					○
45	○		アンサンブル4	各パートの応用レッスンを行う②	2年前期	60	4				○	○					○

46	○		ヴォーカルアン サンプル4	各パートの応用レッスンをを行う③	2年 後期	60	4			○	○			○	
47	○		オリジナル制作2	オーディション公演用のオリジナル楽曲の制作	2年 後期	60	4			○	○			○	
48	○		DTM2	Protoolsの使い方を覚える②	2年 後期	30	2			○	○			○	○
49	○		選択ジャンル別2	音楽業界の最新トレンドを知る④	2年 後期	30	2			○	○			○	
50	○		ジャンル別レッ スンA4	様々なオーディションに対応できる能力を身につける ④	2年 後期	30	2			○	○			○	
51	○		特別授業5	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕 事をするうえで有益な情報（好まれる人間性や重宝さ れる技能等）を学ぶ①	2年 前期	0	2	○			○			○	
52	○		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕 事をするうえで有益な情報（好まれる人間性や重宝さ れる技能等）を学ぶ②	2年 前期	0	2	○			○			○	
53	○		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講 評を受ける①	2年 後期	0	2	○			○			○	
54	○		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講 評を受ける②	2年 後期	0	2	○			○			○	
55		○	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
56		○	動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
57		○	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4	○			○			○	
58		○	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
59		○	クリエイイトする 為の基礎デザ ン講座	デザインの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
60		○	初心者ProTools ゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
61		○	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
62		○	日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
63		○	HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4			○	○			○	
合計						63	科目	172 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 取得単位110単位以上 出席率75%以上		1学年の学期区分	2期
履修方法： 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。